



愛知労働局発表
平成30年12月27日(木)

【照会先】

労働基準部安全課

安全課長 桑原 幸弘

主任安全専門官 松田 成正

(電話)052-972-0255



「危なさと向きあおう アクション100 in 愛知」
を平成31年からスタートします

～魅力ある職場づくりに向けた、全国で初めての
大規模かつ集中的なリスクアセスメント推進運動～

- 愛知労働局では、平成18年度から、事業場におけるリスクアセスメントの導入に向けた取組を進め、これが死亡災害等の減少に少なからず寄与してきました。
 - ※ 「リスクアセスメント」とは、労働者の就業に係る危険性や有害性を特定し、それぞれのリスクを把握・検討・見積り、リスクの低減措置を検討し実施することをいいます。これにより、死亡災害や死傷災害の減少が期待されます。
 - ※ 厚生労働省においては、平成18年3月に「危険性又は有害性の調査等に関する指針」が、平成27年9月に「化学物質等による危険性又は有害性の調査等に関する指針」が発出されています。
- 平成30年4月から、第13次労働災害防止推進計画（5ヶ年計画）をスタートさせましたが、労働災害の発生状況を見ると、11月末現在で、死亡災害は42件発生し対前年同期で3件（7.6%）増加しており、死傷災害は5,890件発生し対前年同期で391件（7.1%）増加しています。
- リスクアセスメントの取組は、働き方改革を進め魅力ある職場をつくる第一歩であり、死亡災害等の減少にもつなげるため、「危なさと向きあおう アクション100 in 愛知」を展開します。

「危なさと向きあおう アクション100 in 愛知」

1 運動期間

平成31年1月～平成34年12月（第13次労働災害防止推進計画期間終了まで）

2 取組内容

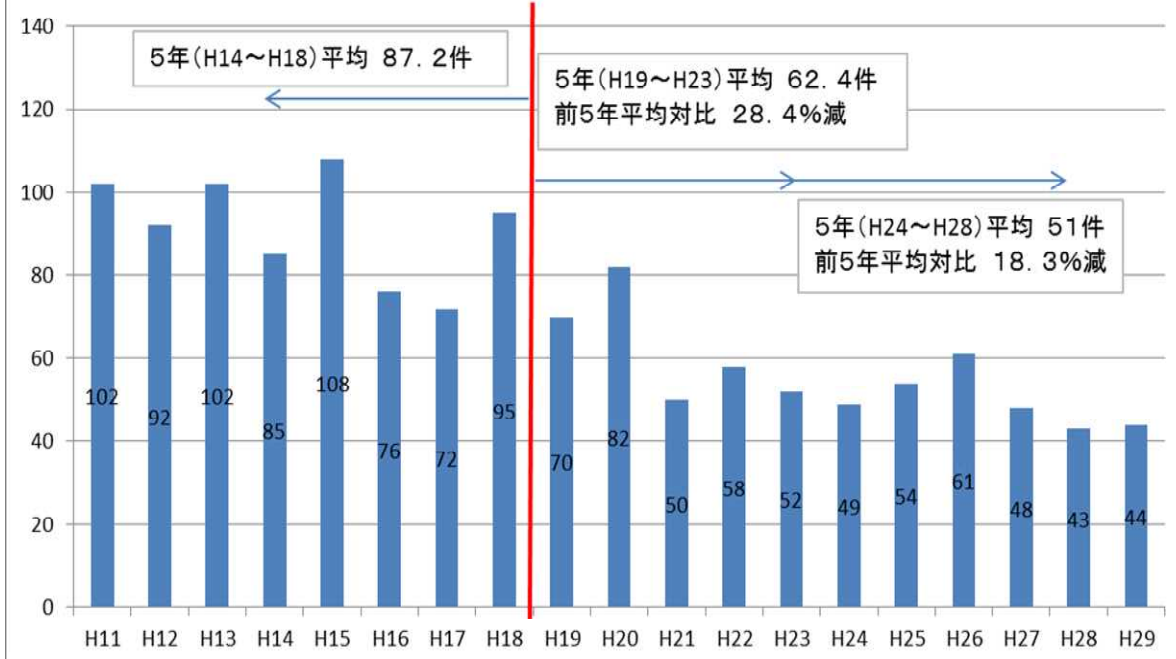
・ リスクアセスメントの導入のための取組（アクション100）

労働局、労働基準監督署及び災害防止団体が協力し、事業場に対するリスクアセスメントに関する説明会を、年間合計100回以上開催。

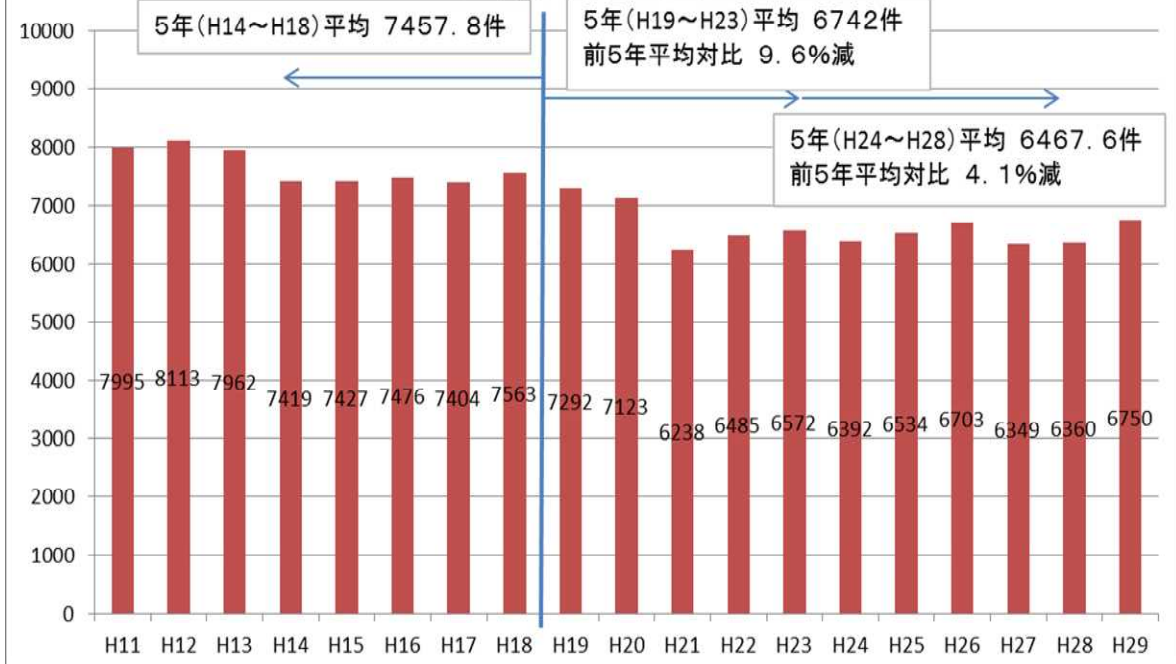
・ 本運動の周知啓発

事業場へ「危なさと向きあおう」ロゴ入りステッカーの配布などを検討

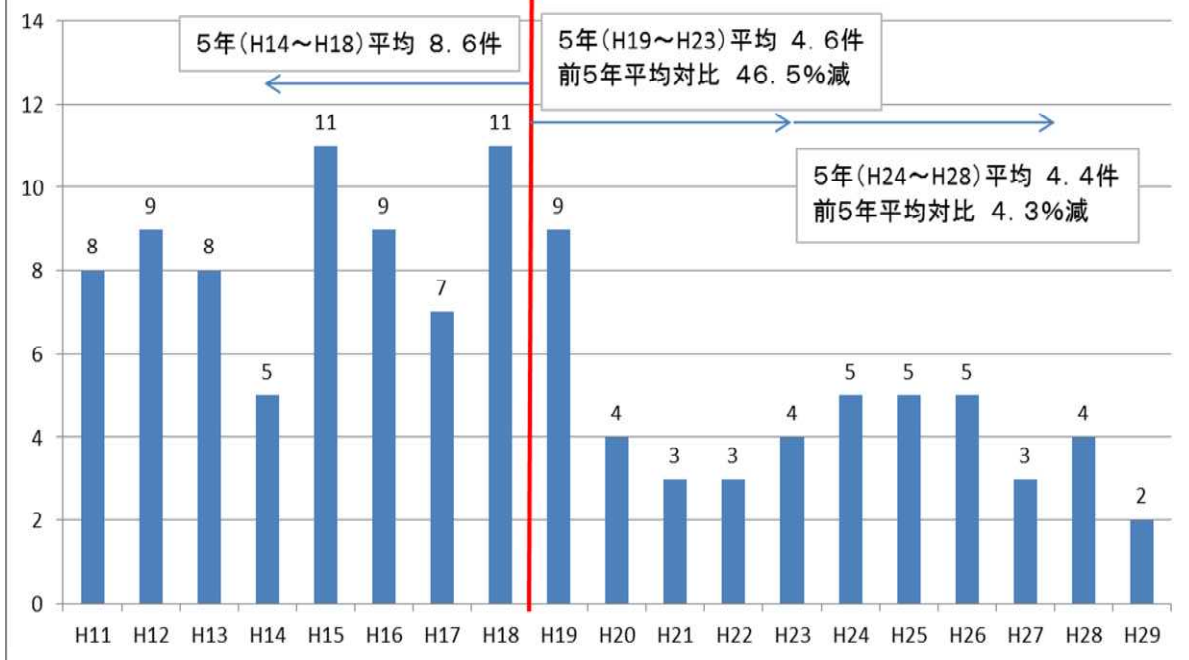
死亡災害の状況



死傷災害の状況



製造業におけるはさまれ等死亡災害の状況



製造業におけるはさまれ等死傷災害の状況

